

# 佐賀教区で慶讃法要

佐賀教区は11月22日、佐賀市の佐賀市民文化会館で



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を営み、800人を超える門信徒、僧侶らが参拝した。泉井敬文教務所長が導師、西山是明教区会議長と教区内17組の組長が結衆で、法要をつとめ(写真)、慶讃法要特命布教講師の吉村隆真さんが記念法話を行った。協賛行事を2部構成で開

催。第1部は「子どもたちを育てるためにをテーマに、子どもの虐待防止運動(オレンジリボン運動)の周知、フードバンク活動、寺院で

通じて味わったみ教えの話などを交えながら、ピアノとデュオで「愛の賛歌」などの名曲を披露した。

開かれている子ども食堂を紹介した。同教区は慶讃法要の機運高揚にオレンジ色ののぼりを製作して教区内に配布しており、その売り上げをオレンジリボン運動の活動団体に寄付している。第2部は、バイオリニストの井石弾さん(佐賀市・報恩寺衆徒)が、音楽を

また26日には、佐賀市の佐賀教堂で同教堂慶讃法要を営んだ。同市・円光寺前住職の安田積心さんが記念布教した。法要後には帰敬式が行われ、40人が受式。同教区は昨年4月から「佐賀教区1000人の帰敬式」と銘打ち、帰敬式の受式奨励を行っており、今回もその一環。